授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
ヘルスプロモーション	1年次	後期	1	30	有

科目責任者	山口真依・吉野紗知子・後藤博子
授業概要	ヘルスプロモーションの概念や活動について理解し、人々が健康の保持増進を行う意義を学ぶ。また、個人・家族・集団・地域に対する健康教育の実際を理解し、対象に応じた健康教育の実践を通して、ヘルスプロモーションにおける看護職の役割について学ぶ。
目標	1. ヘルスプロモーションの概念（定義、戦略、活動方法等）が理解できる。 2. ヘルスプロモーションに活用する理論が理解できる。 3. 健康教育の実際を知り、対象に必要な健康教育計画を立案、実施、評価することができる。 4. ヘルスプロモーションにおける看護職の役割について述べることができる。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	「自らの健康」を考える ヘルスプロモーションの概念	山口	講義
2	ヘルスプロモーションと健康戦略	山口	講義
3	健康教育の展開と理論 （プリシード・プロシードモデル　他）	山口	講義
4	健康行動と理論 （健康増進モデル　他）	山口	演習
5	ヘルスリテラシーとヘルスコミュニケーション	山口	講義
6	集団・地域を対象にした健康教育の実際 （館山市の概況、成人保健の動向、活動）	吉野	講義
7	集団・地域を対象にした健康教育の実際 （高齢者保健の動向、活動）	吉野	講義
8	集団・地域を対象にした健康教育の実際 （母子保健の動向、活動）	吉野	講義
9	個人・家族を対象にした健康教育の実際 （外来における慢性病をもつ対象への介入）	後藤	講義
10	ケースを用いた健康教育の実践 （対象の理解、アセスメント、健康課題の明確化）	山口	演習
11	ケースを用いた健康教育の実践（健康教育計画の立案）	山口	演習
12	ケースを用いた健康教育の実践 （健康教育の媒体作成、原稿の作成、リハーサル）	山口	演習
13	ケースを用いた健康教育の実践（健康教育の実施・発表）	山口	演習
14	ケースを用いた健康教育の実践（健康教育の実施・発表）	山口	演習
15	ケースを用いた健康教育の実践（健康教育の評価）	山口	演習

履修条件	なし
テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学総論　成人看護学①　医学書院 新体系看護学全書　別巻　ヘルスプロモーション　メヂカルフレンド社
参考書	国民衛生の動向　厚生労働統計協会 系統看護学講座　専門基礎分野　公衆衛生　健康支援と社会保障制度②　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅰ　看護学概論　基礎看護学①　医学書院
評価方法	試験（50%）・提出物（50%）